

## 新たな学校の校歌・校章の作成について

南成瀬地区の新たな学校の校歌・校章を作成に向けて検討するにあたり、必要となる基本情報について情報提供します。

教育委員会では、新たな学校に通う子どもたちが円滑に合流できるよう校歌・校章の作成について検討していきたいと考えています。

基本計画検討会においては、子どもたちの円滑な合流の実現にあたって、作成時期や作成方法、どのように校歌や校章を使用していったらよいかについてご意見をいただければと思います。

### 1 校歌・校章について

#### (1) 校歌

自校の建学の理想や校風、地域の自然や歴史などを歌詞に織り込み、開校当時から歌い継がれており、児童・保護者等の連帯感を高めるものです。

#### (2) 校章

学校を象徴する紋章で、その多くは、校名や教育目標などを反映したデザインとなっています。

### 2 校歌・校章作成事例について

#### (1) 近年統合のあった他市の作成時期

学校名を反映して作成している傾向があるため、学校名を決定した後に校歌・校章を作成している事例が多くみられます。

また、統合前に作成する場合と統合後に作成する場合があります。

統合前に作成する場合には、事前交流の一環という形で統合対象校の児童同士で作成を行ったり、作成後には統合に向けて一緒に合唱したりするなどしています。

統合後に作成する場合には、統合後の学校の雰囲気や地域の状況なども踏まえて、新しい児童たちで作成するなどしています。

学校名	中野区立 令和小	足立区立 江北小	北区立 十条小	立川市立 若葉台小
パターン	統合前に作成			統合後に作成
校名	2019年4月	2019年6月	2019年11月	2017年6月
校章	2019年10月	2020年3月	2021年4月	2019年2月
校歌	2020年1月	2021年3月	2022年2月	2019年2月
統合年度	2020年4月	2022年4月	2022年4月	2018年4月

#### (2) 作成方法

校歌や校章の作成方法について以下のような手法を他自治体でも採用しています。

作成方法	内容
公募	市の広報や学校だよりなどで公募し、選考会などで選定
児童の案	児童の案を元に先生や専門家が修補、選考会などで選定
地域に縁のある人に依頼	町田市や地域に在住または出身の方に依頼
地域の大学等と連携	地域の大学と協力して作成。(例：桜美林大学、玉川大学などに作成を依頼するなど)
学校の先生による作成	統合する学校同士または統合新設校の音楽や国語、図工の先生などに作成を依頼
専門家に依頼	作詞家や作曲家、デザイナーに依頼

### 3 南成瀬地区新たな学校の校歌・校章の作成時期・方法について

南成瀬地区の校歌や校章の作成にあたって、皆様からそれぞれの作成時期・方法についてご意見をいただきたいと考えています。

## 4 南成瀬地区統合対象校の校歌・校章




## (1) 南成瀬地区の小学校の校歌

南第二小学校	作詞 勝 承夫 作曲 平井 康三郎
一	みどりの丘の そよ風が 大らかな夢をもて 元気にのびよと ふいて来る 歴史も古く ほまれある 南二小に そだつ子は 明日の日本を うけつぐ力
二	文化の遺跡 高ヶ坂 大海をさしてゆく 小さなながれ 恩田川 昔も今も 美しい 里の気風を この胸に いつも仲良く 我らは進む
三	楓の庭の 若鳥を 大山も 丹沢も はるかな空で よんでいる 自立の英気 はつらつと 南二小に まなぶ子は 明日の世界に 飛び立つ力

南成瀬小学校	作詞 中村 千栄子 作曲 岩河 三郎
	昔の人も聞いたのが 瀬音も高い 恩田川 いま 生きている ぼくたちだって 澄んだひびきが 好きだから 胸も なるなる 南成瀬小の子ども 明るい歌声 はずむんだ やさしく風が話してる 成瀬の遺跡 夢のあと いま 見つめてる ぼくたちだって 光る若葉が いっぱいだから いつか ぐんぐん 南成瀬小の子ども 大きなけやきに なりたいな

■出典：「町田市立小・中学校校歌集」

## (2) 南成瀬地区の小学校の校章とその由来

小学校名	校章	由来・想い
南第二小学校	 <p>【参考】南第一小学校の校章</p> 	<p>南第一小学校の校章を基にして構成された。</p> <p>【参考】南第一小学校の校章の由来 星と桜の花は、質実剛健、公明正大を表している。 校章の中の文字は学校名と共に変わり、開校時代は「開」、南村立南国民学校・南小学校時代は「南」、町田町立南第一小学校となって「南一」に変更した。</p>
南成瀬小学校		<p>児童応募作品83点の中から3点を選び、図工専科が原案を作成、全職員の投票で決められた。</p> <p>円の中に町田市の市の木「けやき」の大小の葉をあしらい、余白に「成小」と入れる。葉の位置を左右アンバランスにして、柔らかさや温かさを出すとともに、中心を避けるという、日本のゆかしい伝統をいかしている。</p> <p>けやきの名の由来の古語「けやかし」（際立っている）の意味から、子どもたちが「けやき」のようにきわだって成長してほしいという願いを表している。</p>

■出典：「町田市立小・中学校校歌集」